

平塚市総合計画（改訂基本計画）2次素案に対する答申 概要

日時 令和2年1月23日（木） 11時00分～11時20分

場所 平塚市役所 4階 第1応接室

出席者 平塚市総合計画審議会：小崎会長、田中副会長
平塚市：市長、石田副市長、石黒副市長

事務局 3名

平塚市総合計画審議会：小崎会長、田中副会長より、平塚市総合計画（改訂基本計画）2次素案に対し、市長へ答申書が渡された。

【小崎会長】

今後は人口減少の規模もさることながら、そのスピードが問題になる。高齢者にも就労してもらう必要があり、そのために市として何ができるか考えることが重要である。また、その際には、「交通」についても検討することが欠かせない。審議会の答申は終わるが、これが計画推進のスタートになるので、しっかり取り組んでいただきたい。

【田中副会長】

これからの公共施設をはじめとした行政サービスについては、「見直す勇気」と「やめる決断」が重要になる。まちのダウンサイジングは避けることができず、10年、20年先を見据えて、段階的に、かつ丁寧に世論形成を進めなくてはならない。

【市長】

今後の市政運営にあたり、民間活力の活用や町内福祉村のように市民の力を借りて進めていく必要がある。特に、平塚市は「手をつなぎたくなるまち湘南ひらつか」をスローガンにシティプロモーションを進めており、私自身、とても温かいまちだと感じている。また、人口減少社会を踏まえると、地域包括ケアシステムを推進していく必要があり、これには「交通」が重要な要素になると考えている。いただいた貴重な御意見を踏まえ、平塚市総合計画改訂基本計画を推進していきたい。



(左から田中副会長、落合市長、小崎会長)